

# 平成30年度予算編成方針

平成30年度は、奈良市第4次総合計画及び奈良市まち・ひと・しごと創生総合戦略の最終年度に向けて、人口減少克服に向けた持続的な発展を目指すための成長戦略を着実に実行し成果を挙げていくことが求められている。しかしながら、現下の社会経済情勢において、本市を取り巻く財政環境は極めて厳しく、持続可能で安定した財政基盤を確立することが喫緊の課題である。

一方で、本市の将来の発展を見据え魅力にあふれた「選ばれるまち」を実現するため、子育て・教育環境のさらなる充実をはじめ市民がさらに暮らしやすいまちづくりに取り組み、未来に向けた成長戦略を推進していかなければならない。そのため、平成30年度予算編成は、未来につながる施策を重点的に進めるとともに思い切った財政構造改革を断行するものとし、次に掲げる基本方針に沿って各課が責任と自覚をもって取り組むこととする。

## 《基本方針》

### (1) 綿密な事業計画に基づく未来志向の施策を展開

- **きめ細かな福祉で暮らしやすく住み続けたいまちを実現**  
市民の暮らしに直結するきめ細かな施策については、社会情勢の変化に合わせて対応し、暮らしやすく住み続けたいまちを実現する。
- **将来世代への先行投資で未来への成長戦略を推進**  
未来の世代にまちを引き継いでいくため、魅力にあふれたまちづくりを進め、定住人口と交流人口の増加に向けた成長戦略を推進する。
- **的確な工程と人員配置を含めた全施策の事業計画を新たに構築**  
上記の施策について政策の目的と効果を明確にしたうえで、数値や事実などの根拠をもって政策を企画立案し、的確な事業計画を構築する。

### (2) 全ての施策を再検証し財政構造改革を断行

- **予算の重点配分と創意工夫による思い切った見直しにより財政構造改革を断行**  
事業計画においては、事業の方向性と成果目標を設定することとし、政策効果が高いと見込まれる政策には集中的に投資し、政策効果の低い事業は思い切った見直しを行いメリハリの効いた取組を行う。
- **人件費の適正化と組織の変革も含めた市政改革をさらに続行**  
各事業の直接経費だけでなく隠れたコストにしっかりとメスを入れ、人件費を含めたフルコストの観点で生産性向上を図り、市政改革をさらに進める。
- **投資的事業の計画的な実施により事業費の平準化と公債費負担の軽減**  
後年度負担の軽減につながる取組においては、中長期の費用対効果を見極めたうえで積極的な投資を行い、将来負担の適正化を図る。